

四日市の

平成30年度 決算報告

特集

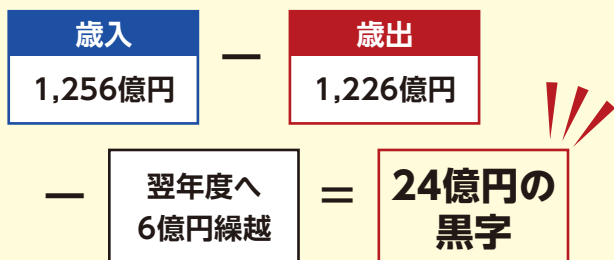
平成30年度の決算が8月定例会議会で市議会に認定されました。市の平成30年度決算は、健全な財政運営に努めた結果、いずれの会計においても歳入が歳出を上回る黒字決算となりました。今回の特集では、平成30年度の決算を振り返り、市民の皆さんに納めていただいた税金がどのように使われたのかお伝えします。

※数値は四捨五入のため、合計が合わない場合があります



一般会計

歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を引いた実質収支額は、一般会計が24億円、特別会計全体が30億円、公営企業会計全体が42億円といずれも黒字となりました。



歳入

□ 内は前年度比
() 内は構成比

前年度比 +133億円 +11.9%

主な増減

- 市税収入 +108億円 +15.9%
…法人市民税や固定資産税の増など
- 市債 +7億円 +36.1%
…国体関連施設などの整備による増など
- 繰入金 +16億円 +332.5%
…国体関連施設の整備などに伴う基金繰入金の増など

事業所税

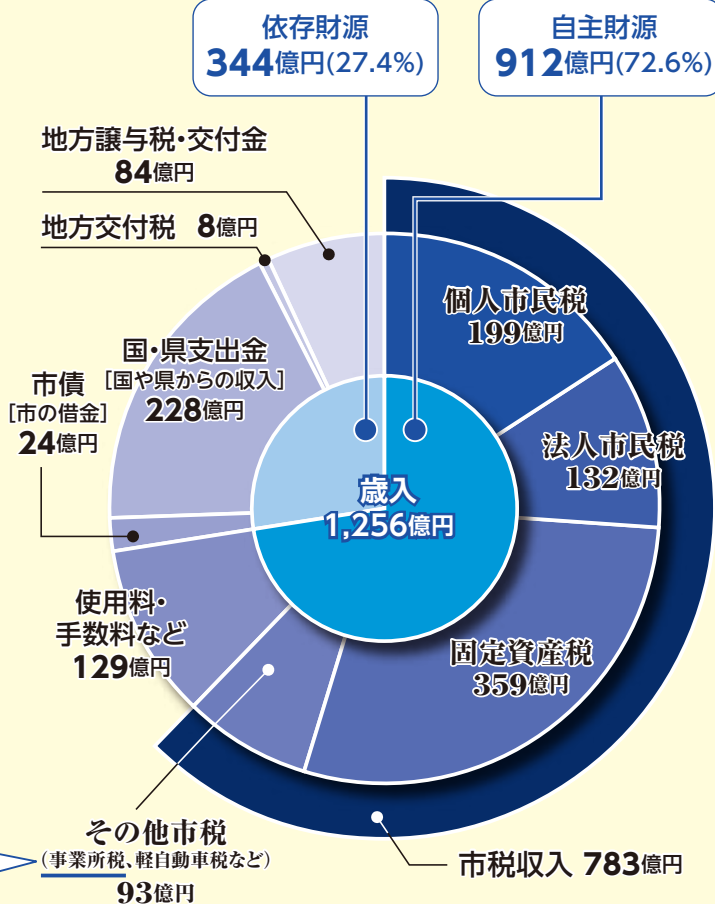
人口30万人以上の都市で、一定規模以上の事業所に課税する目的税(決算額38億円)

事業所税の主な充当先

- 産業・生活道路などの整備に 12億円
- 小・中学校の改修工事などに 14億円



改修した海蔵小学校



特別会計等

特定の事業を行うために、一般会計と区別して運営する会計

平成30年度は全ての会計で黒字になりました

項目	歳入(A)	歳出(B)	実質収支(A-B)
競輪事業	160億2,191万円	149億2,032万円	11億159万円
国民健康保険	295億4,149万円	293億8,802万円	1億5,347万円
食肉センター食肉市場	7億2,930万円	7億1,757万円	1,173万円
土地区画整理事業	2億1,673万円	2億1,469万円	205万円
住宅新築資金等貸付事業	4,070万円	978万円	3,092万円
農業集落排水事業	3億4,652万円	3億1,964万円	2,688万円
介護保険	230億9,411万円	216億2,629万円	14億6,782万円
後期高齢者医療	63億8,572万円	62億5,547万円	1億3,026万円
桜財産区	4,516万円	197万円	4,318万円
合計	764億2,164万円	734億5,373万円	29億6,791万円

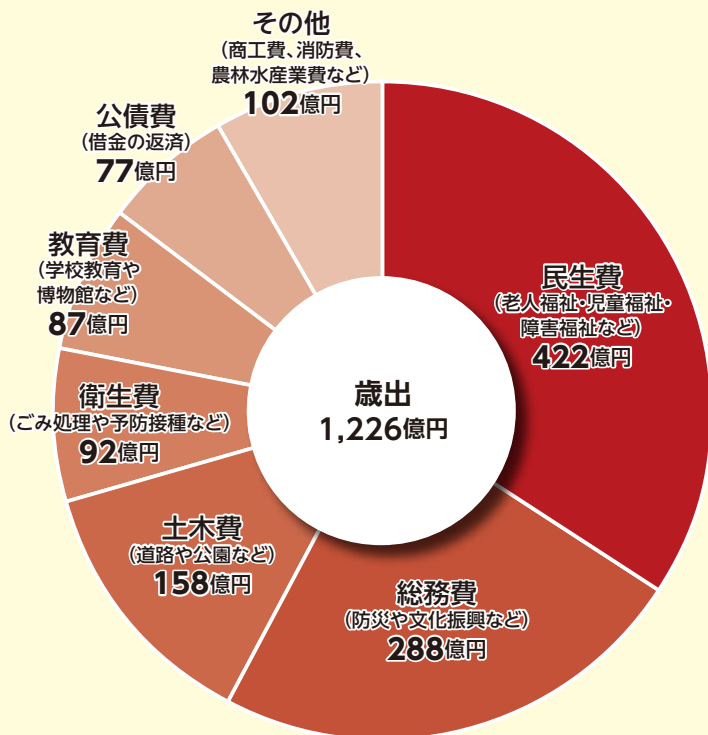
歳出

前年度比 **+131億円** **+11.9%**

主な増減

- **民生費 +17億円** **+4.1%**
…児童発達支援センターあけぼの学園の整備など
- **土木費 -7億円** **-4.6%**
…四日市あすなろう鉄道運行事業費の減など
- **総務費 +167億円** **+136.9%**
…アセットマネジメント基金への積立や
国体関連施設の整備に伴う増など

目的別内訳



◆市民1人当たり換算すると…

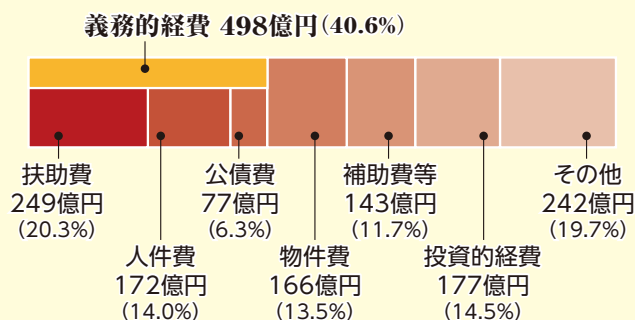


収入	
項目	決算額
市税	251,309円
使用料・手数料などの収入	41,641円
借金(市債)	7,598円
国や県からの収入(国・県支出金) ※使い道の指定あり	73,158円
国からの収入 (地方交付税、地方譲与税・交付金) ※使い道の指定なし	29,662円
合計	403,368円

支出	
項目	決算額
福祉サービスの提供など	135,424円
防災対策、文化振興など	92,341円
道路・市街地の整備、交通など	50,663円
保健・医療や環境対策など	29,533円
教育の充実	27,916円
借金(市債)の返済	24,804円
その他 (消防、地域経済の振興など)	32,907円
合計	393,588円

※一般会計の決算額を、市の人口(平成31年4月1日現在 311,431人)で割って計算

■性質別内訳()内は構成比



公 営 企 業 会 計

住民の福祉の増進を目的として、
主に料金収入によって
経営される会計



市立四日市病院事業

がん治療の充実のために
化学療法室の拡充工事を完了するとともに、3テスラMRI装置を導入しました。



収益 215億円 4億円の黒字
費用 211億円



水道事業

給水戸数は前年度と比べて1,965戸増加し、全体で15万1,722戸になりました。取水井(井戸)の更新や、基幹施設の耐震化、経年施設の更新などを行いました。

収益 76億円 14億円の黒字
費用 62億円



下水道事業

処理区域内戸数は前年度に比べて2,703戸増加し、全体で11万791戸になりました。汚水管を延長する汚水整備工事や、吉崎ポンプ場の建築工事、日永浄化センターの設備更新などを行いました。

収益 157億円 24億円の黒字
費用 133億円

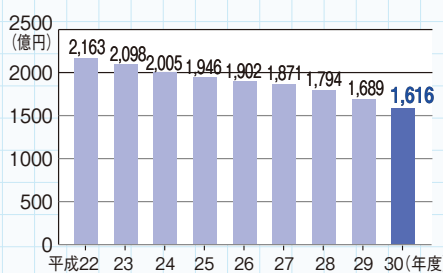
借 金 と 貯 金

借金は減少、貯金は着実に確保

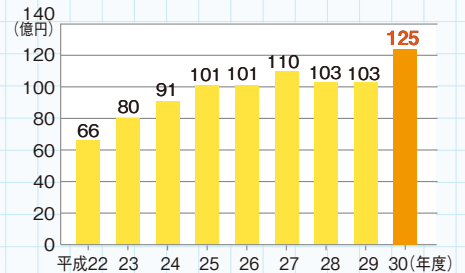
市債発行額の抑制に努めた結果、借金(全会計の市債残高の合計)は1,616億円となり、前年度と比べて73億円減少しました。

また、災害などの不測の事態や景気変動による減収に備えるため、貯金(財政調整基金)の確保に努めています。平成30年度においては、年度末残高で125億円確保できました。

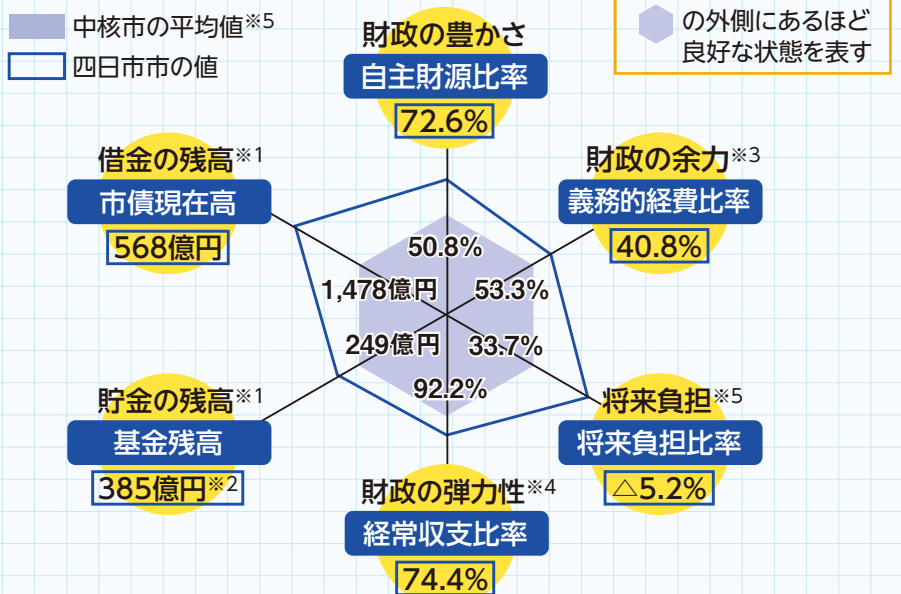
借金(全会計市債残高)の推移



貯金(財政調整基金)の推移



財 政 指 標 で他都市と比較



※1 普通会計の額で比較
 ※2 財政調整基金や特定目的基金などの合計
 ※3 歳出のうち、その支出が義務付けられ節減が難しい費用(人件費、扶助費、公債費)が歳出全体に占める割合。数値が低いほど財政に余力がある
 ※4 人件費など毎年定期的に支出する経費に、一般財源がどの程度費やされているかを求めたもの。数値が低いほど弾力性がある
 ※5 将来負担比率は全国市町村の平均値

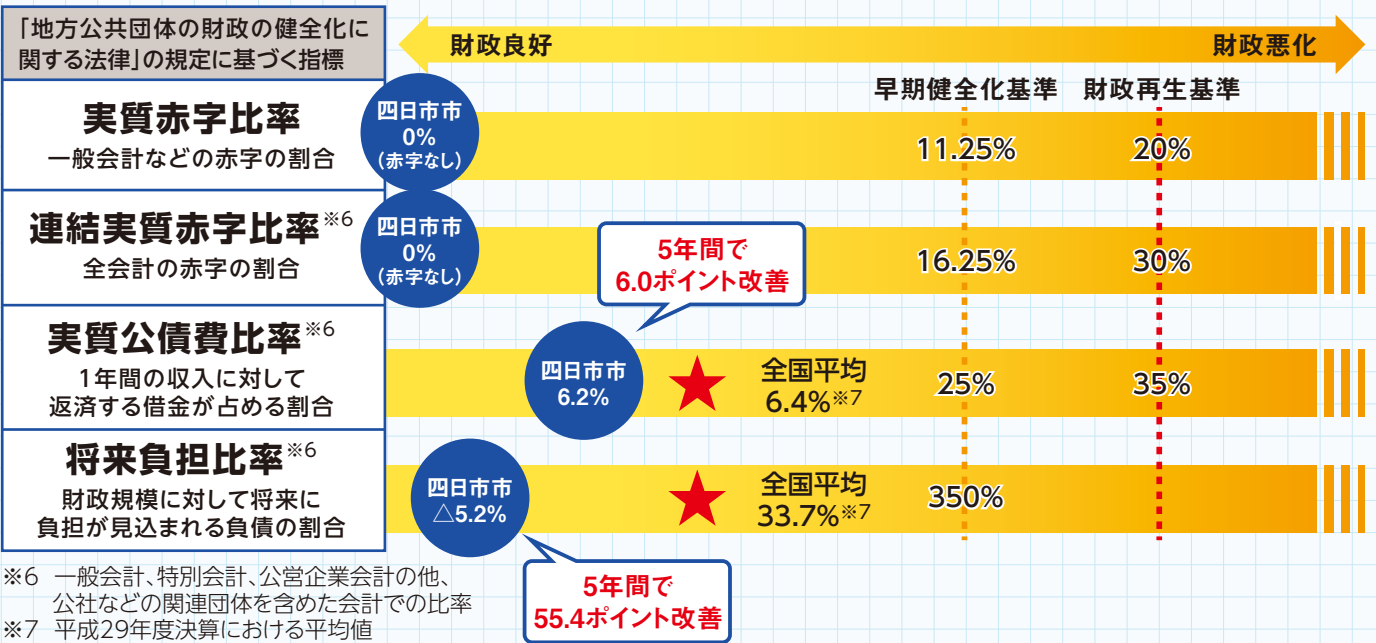
歳入に関しては、市税などの自主財源比率が他団体と比べて高い水準にあり、国・県からの補助金や地方債などの依存財源に頼らない、自主性の高い構造となっています。

歳出に関しては、他団体と比べて財政の弾力性が高く、将来負担比率も低い、健全な状態にあります。また、貯金の残高(積立金現在高)や借金の残高(地方債現残高)も他団体と比較して良好な水準となっています。

財政健全化の推進

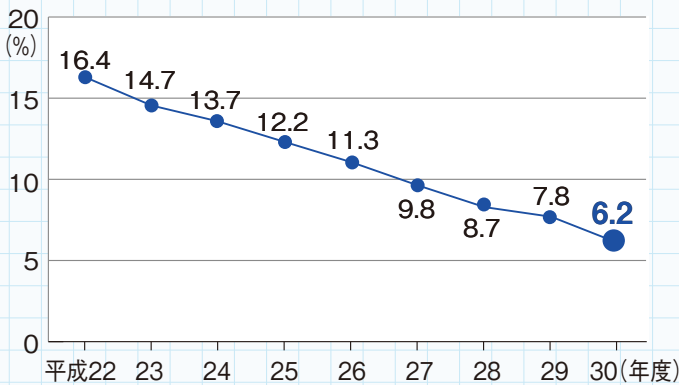
財政状況は健全です

平成30年度決算を基に本市の健全化判断比率を算出すると、いずれの指標も昨年度の数値から改善しており、早期健全化団体や財政再生団体となる基準を下回っています。特に、将来負担比率は、前年度の34.4%から△5.2%(将来負担なし)となりました。これは四日市市土地開発公社清算に伴う債権放棄やアセットマネジメント基金への積み立てなどが主な要因です。



健全化判断比率の推移

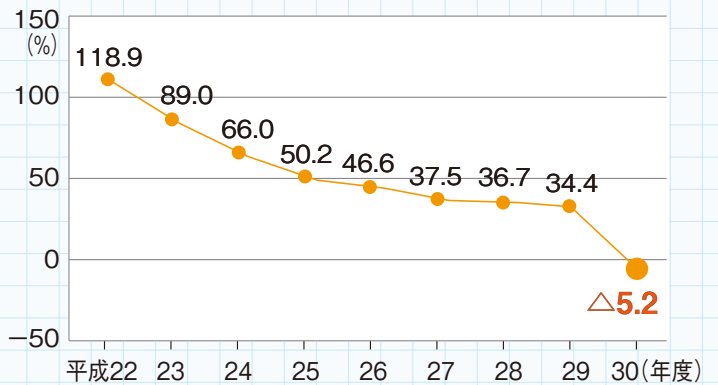
実質公債費比率の推移



この比率が高いほど、社会経済や行政需要の変化に適切に対応していくゆとりがないということになります。

本市は、新たな市債発行(借金)の抑制に努めた結果、毎年比率が改善しています。平成30年度は、6.2%と全国平均6.4%を下回り、健全な数字となりましたが、引き続き公債費の削減に努めます。

将来負担比率の推移



この比率が高いほど、財政規模に比べて将来に見込まれる支出が大きくなり、今後、財政を圧迫する可能性が高くなります。

本市の比率は△5.2%(将来負担なし)となりましたが、今後も健全な財政運営を維持するため、市債発行の抑制や、基金残高の確保に取り組みます。

この他にも、民間企業の手法を用いた財務諸表など、さまざまな角度から財政状況を分析しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。



平成30年度 主な事業

本市は、今後10年間のまちづくりの方向性を定める「四日市市総合計画(平成23~32年度)」に基づき、「安心、元気・魅力、絆のあるまち」を目指して、さまざまな取り組みを進めています。そして、総合計画に定める五つの基本目標に応じて、3カ年の実施計画「推進計画」(第3次推進計画は平成29~32年度)を策定し、重点的に財源を配分することで、効果的に事業を推進しています。

ここでは、平成30年度に実施した推進計画事業のうち、決算額の大きい上位5事業を紹介します。

基本目標

1

「都市と環境が調和するまち」を目指して

決算額 47億円



拠点駅周辺整備事業



平成30年度決算額(額が大きい順)

1	公共下水道事業(汚水)	23億2,454万円
2	水道整備事業	15億1,474万円
3	市営住宅外壁改修等長寿命化事業	1億7,709万円
4	拠点駅周辺整備事業【連続立体交差事業】(近鉄川原町駅)	1億5,563万円
5	拠点駅周辺整備事業【四日市あすなろう鉄道駅前周辺活性化事業】	1億442万円

滝川公園

近鉄川原町駅の連続立体交差事業に伴い、防災施設を有する公園に整備しました。

基本目標

2

「いきいきと働ける集いと交流のあるまち」を目指して

決算額 15億円



民間研究所立地奨励金交付事業



平成30年度決算額(額が大きい順)

1	企業立地奨励金交付事業	11億9,728万円
2	民間研究所立地奨励金交付事業	1億2,235万円
3	観光・シティプロモーション事業	2,947万円
4	東海道魅力アップ事業	2,367万円
5	茶業振興拠点整備事業	2,170万円

JSR株式会社四日市工場 Center of Materials Innovation

市内の事業所において研究棟を新設したため、民間研究所立地奨励金を交付しました。

基本目標

3

「誰もが自由に移動しやすい安全に暮らせるまち」を目指して

決算額

50億円

事業
ピックアップ

消防力・救急体制強化事業



平成30年度決算額(額が大きい順)

1	総合治水対策推進事業 【公共下水道事業(雨水)】	20億7,499万円
2	公共施設アセットマネジメント事業	8億7,487万円
3	道路橋梁整備事業 【主要道路リフレッシュ等】	7億7,400万円
4	道路橋梁整備事業【橋梁】	2億3,406万円
5	消防力・救急体制強化事業	2億2,712万円

救助工作車

市域南部エリアの救助体制の強化・充実を図るため、新たに南消防署へ救助工作車を配備しました。

基本目標

4

「市民が支えあい健康で自分らしく暮らせるまち」を目指して

決算額

50億円

事業
ピックアップ

児童発達支援センターあけぼの学園
移転整備事業



平成30年度決算額(額が大きい順)

1	児童発達支援センターあけぼの 学園移転整備事業	11億1,739万円
2	子ども医療費助成事業	9億5,153万円
3	民間保育所等整備事業	8億5,523万円
4	地域型保育事業	4億6,458万円
5	学童保育推進事業	4億5,939万円

児童発達支援センターあけぼの学園

西日野町から下海老町へ移転整備し、利用定員の増員など支援機能の拡充を図りました。

基本目標

5

「心豊かな“よっかいち人”を育むまち」を目指して

決算額

80億円

事業
ピックアップ

文化会館大規模改修事業



平成30年度決算額(額が大きい順)

1	国体競技施設整備事業	54億9,588万円
2	文化会館大規模改修事業	6億3,052万円
3	校舎改築事業	4億7,603万円
4	大規模改修事業	2億9,748万円
5	霞ヶ浦運動施設整備事業	2億6,269万円

文化会館第1ホール

第1・第2ホールなどの吊天井崩落対策を中心に、客席・トイレなどの改修を実施しました。

●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は

財政課 ☎354-8130 FAX 359-0275
広報マーケティング課 ☎354-8244 FAX 354-8315